

子ども(中学生以下)はすべて観覧無料

# CAMK

## 熊本市現代美術館 2021 EXHIBITION SCHEDULE

2021年度展覧会スケジュール

# 1

3/27(土)-6/13(日)

### 段々降りてゆく 九州の地に根を張る7組の表現者

九州を拠点にし、自らの生きる環境に根差した問題意識を持って主体的な活動を行う同時代の表現者7組を紹介するグループ展。それぞれの場所での実践例を通して、我々にとって切実な表現とは何かを考えます。



加藤笑平《mass of roman tic go/ちくご》2018年  
photo by Shintaro Yamanaka

# 2

7/3(土)-9/12(日)

### テオ・ヤンセン展



オランダのアーティスト、テオ・ヤンセンによって生み出された、風を動力源として砂浜を疾駆する「ストランドビースト」。芸術と科学を横断し、新たな可能性を提示しています。本展では実際に動く様子も体感できます。

テオ・ヤンセン《アニマリス・ムルス》2017年 © Media Force

ジー スリー  
G III

入場無料 九州・熊本ゆかりのアーティストを中心に紹介する企画展示室です。

VOL. 139

4/7(水)-6/6(日)

### 本と人と作品の空間を考える04 シーリングファン

「本と人と作品の空間を考える」の4回目は、BGMに着目し、ギャラリーIIIとホームギャラリーを会場に、宮内優里(作曲家/音楽家)によるBGMが流れます。

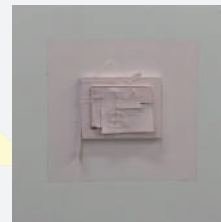


VOL. 140

6/12(土)-8/22(日)

### 千原真実 個展 風景、片鱗

熊本出身の若手アーティスト、千原真実の個展。千原はコラージュという手法によって、描くこととは異なる絵画空間を探索しています。本展では「風景の片鱗」をテーマとした新作を中心に、「壁」をコラージュの要素として用いるを試みます。



千原真実《Surface》2019年 作家蔵

# 3

9/25(土)-12/5(日)

### こわいな! 恐怖の美術館展

相次ぐ天災やコロナ禍により、恐怖や不安が多様化・偏在化した現在。恐怖や不安、喪失を自分自身の感情のひとつとして受け入れ創作を行った美術家たちの作品を通じ、わたしたち自身の恐怖と向き合う展覧会です。



オディロン・ルドン《蜘蛛》1887年(部分)  
岐阜県美術館蔵



田名網歌一《箱想体》2019年  
作家蔵  
©Keiichi Tanaami Courtesy of NANZUKA

# 4

2022  
12/18(土)-1/23(日)

### 第33回熊本市市民美術展 熊本アートパレード



15歳以上(中学生は除く)の熊本在住・在学・在勤者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募展です。本年度は審査員に漫画家の室山まゆみ氏を迎えます。

# 5

2022  
2/5(土)-4/10(日)

### 塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない! 人生絵日記

宇城市出身の素朴派の画家・塔本シスコ。50代で油絵を始め、92歳で亡くなるまでの40年間に膨大な数の作品を描きました。あふれでる夢や喜びを制作の原点としたシスコ・ワールドの全貌をご紹介します。過去最大の回顧展です。



塔本シスコ《ふるさとの海》1992年  
熊本市現代美術館蔵

### 井手宣通 記念ギャラリー

入場無料

井手宣通の作品をはじめ、収蔵作品を中心に紹介する展示室です。